



「神山椎茸」のブランド化と地域に密着した人材育成

## 神山椎茸生産販売共同組合



神山椎茸生産販売協同組合は、県内でも菌床椎茸栽培を先駆けて開始し、大きく肉厚で美味しい菌床椎茸を生産・販売しています。神山椎茸は、徳島県のほぼ中心に位置する自然の豊かな神山町で、徹底した品質管理のもと、安心して美味しく味わっていただけるように作られた椎茸です。当組合が提供する椎茸は「北研715号」という菌種で大きく肉厚で肉質がしっかりしている椎茸です。

椎茸栽培においては、古くはナラやクヌギの原木から自然発生させる原木栽培が主流でしたが、原木不足や収穫が春・秋時期に限定されるなど採算性の低さから菌床栽培への転換に取り組み、バイオセンターの完成とともに菌床栽培を開始しました。

今後も社員に優しく、地域にも環境にも配慮した循環型の農場を目指していきたいと考えています。

### 〈組合概要〉

組合専従者数 3名

組合員数 6名

### 組合員の資格

- (1) 椎茸の精算販売を行う事業者であること
- (2) 組合の地区内に事業場を有すること

設立年月日 昭和62年8月3日

出資金 1,520万円

### 事業内容

- (1) 組合のためにする共同施設の設置及び運営
- (2) 組合員のためにする菌床の製造・生産
- (3) 組合員の事業に関する椎茸栽培の研究開発
- (4) 組合員の取り扱い品の共同販売
- (5) 組合員の取り扱う原材料の共同購買
- (6) 組合員に対する事業資金の貸付(手形の割引を含む)及び組合員のためにするその借入れ
- (7) 組合員の事業に関する経営及び技術の改善向上又は組合事業に関する知識の普及を図るための教育及び情報の提供
- (8) 組合員の事業に関する外国人技能実習生共同受入事業



- (9) 外国人技能実習生受入れに係る職業紹介事業
- (10) 組合員の福利厚生に関する事業



### 1. 組合等設立の背景と目的について

昭和62年8月志を同じくする4名の発起人により設立された。  
地域同業者が団結し、椎茸栽培の内容の充実と、生産量の増大を図ることを目的として設立した。



### 2. 組合の沿革

昭和62年8月 組合設立

菌床栽培を確立し、原木椎茸から菌床栽培に全面的に切り替え  
とくしま安2農作物の認定を取得

令和4年3月 ダンス動画「おいしいたけ劇場」をリリース



### 3. 共同事業等の取り組み内容

#### (1) 「菌床栽培」を確立

椎茸栽培は、古くはナラやクヌギの原木から自然発生させる原木栽培が主流でしたが、原木不足や、採算性の低さから菌床栽培への転換に取り組みました。

「菌床」とは、おがくずなどを材料にした培地のことで、そこに菌種を植えて育成する方法が菌床栽培です。

この菌床栽培は、現在では多くの事業者が手掛けていますが、組合設立当初は全国でも30事業者ほどしかなく、徳島県においては3事業者しかいませんでした。

当時、空調設備には膨大な費用がかかることが菌床栽培の大きなネックとなっていました。研究をつづけた結果、空調設備に頼らない自然栽培に成功しました。

こうした独自の発生方法の確立により、短期間のうちに生産量・出荷額とも全国トップクラスに成長し、全国から視察者が訪れる一大産地となりました。

#### (2) 菌床のリサイクル活用

菌床は、四国西部でのびのび育った広葉樹を生木のままおがくずにし、ぬかやふすまなどの栄養剤をミキサーで混ぜ、菌が呼吸できる専用の袋に詰めます。巨大な圧力釜で高温殺菌したのち無菌室で椎茸の種菌をまき、培養ハウスの棚に並べられます。

椎茸の採取が終わった菌床は産業廃棄物として処分されていましたが、環境問題の改善の見地からリサイクルができないか試行錯誤した結果、菌床の生産時にある一定量の廃材菌床を混ぜ合わせることが可能となりました。これにより環境改善と併せて大きなコストカットも実現できました。

### (3) 広報活動

徳島産の椎茸は品質が良いと海外でも人気が高く、特に当組合は栽培時に水をあまり使わないことから色の白い椎茸で、シンガポールや香港、マレーシアなどで評判になっています。組合のホームページは、「日本語」「英語」「簡体中文」「繁体中文」で閲覧が可能となっています。Youtube チャンネル「神山しいたけ WEB」も開設し、ダンス動画「おいしいたけ劇場」を公開しています。こども二人が「シイタケの妖精」となり、音楽に合わせた歌と踊りで魅力を伝えており、新聞各紙やNHKでも取りあげられ話題となりました。ダンス動画以外にも「神山しいたけ」や地域の紹介動画が公開されています。



## 4. 社会貢献・地域貢献について

### (1) 地域の学校による工場や農園の見学、体験学習

当組合は様々な地域に根差した活動を通じて神山町の自然や地域住民との関係を大切にしています。神山地区の小学生や中学生、高校生の農場見学受入れを行っています。また地域外の学校への出張授業による食育活動も実施しており、地域の特産品である椎茸及び食の安全について学ぶ機会を提供しています。



### (2) 植林活動

森への恩返しの気持ちで、2011年から植林や林道清掃などの環境保全活動を実施しています。



### (3) SDGs活動への取組み

世界が、日本が、神山町が、神山椎茸が、そして一人ひとりが明日も笑顔で輝ける世界を目指してSDGs委員会を立ち上げ、これまで以上にSDGsを推進できるよう取り組んでいます。徳島県が推進している県民総ぐるみの森づくり運動「とくしま協働の森づくり事業」に賛同し、「SDGs森づくり共同宣言式」にも参加しています。



## 5. 組合設立・組織化の効果・メリットについて

組合設立の昭和62年当時、神山町の主要産業は林業と建設業が中心でありましたが、どちらも時代とともに衰退傾向にありました。椎茸の生産販売事業は神山町特産品の基幹産業として発展してきましたが、需要の増大から益々の内容の充実と生産量の増大を図ることが必要とされていました。このような環境下において、地域同業者が団結し椎茸産業を益々発展させていくために、当組合は4事業者により設立されました。現在当組合は、菌床製造販売会社と椎茸生産会社5社の合計6社により運営されています。

組合設立以前の4事業者は、椎茸栽培の経験も浅く手探り状態で生産していました。そ

んな4社が組合を設立することで団結し、生産性の高い菌床栽培の技術を確立することができました。現在の全国トップクラスの出荷量・出荷額が実現できたことが組合を設立した大きな効果でありメリットです。



## 6. 今後の方向性について

近年はサステナブルな取り組みが特に重要視されるようになっていますが、当組合としては、昔から続けている「真心活動」がそれにあたります。つまりは、組織としての理念と活動そのものを周知していくことが、そのまま他との差別化に繋がると考えています。植林活動により森が豊かになり、森が豊かになることで清廉な空気と水を育み、それによっておいしい椎茸が育ちます。おいしい椎茸の売上が伸びれば新たな雇用を生み出し、地域の活性化にも繋がります。

「神山しいたけ」のことを少しでも多くの人に知ってもらうために、これからも「真心活動」継続するとともに、販促コンテンツの強化を図り、かつ社員にやさしく、地域にも環境にも配慮した循環型の農場を目指していきたいと考えています。



## 7. 中央会を利用して良かった点

制作中（しばらくおまちください）

# 神山しいたけの“紡ぐ”未来

The future of our envisions.



自然と生きる



いきいき働く



地域と生きる



食べる喜び



## 今、いきいき。これからのワクワク。

豊かな自然と、まちに暮らす人が、想い支え合って生きてきた。

自然の循環、社会の循環、暮らしの循環。

いろんな営みが絡み合う中で、私らしく、いきいき生きていく。

これからの未来に、ワクワクがあふれ出してくる。

真摯な生産と取組で自然と人の心を紡ぐ。

それは、ひとつひとつの幸せを 明るい未来へと紡いでいくこと。

そんな いきいきワクワクの農園が、 真心 こめた「神山しいたけ」の目指す姿です。

神山椎茸生産販売協同組合

代表者(役職・氏名) 代表理事 神原 紀仁

住所 徳島県名西郡神山町鬼籠野字小原102番地

URL <https://www.k-shiitake.com>

電話番号 088-676-1105

FAX番号 088-676-1090



神原理事長